

四ツ又山と鹿岳、荒船山山行記録

【日程】 11月26日～27日（26日早朝発）

【天気】 1日目 晴れ後曇り 2日目 晴れ後曇り後雨

【登山方法】 ハイキング（11月定例山行）

【参加者】 CL加藤、SL時田、上茂、狩野、鶴田、小原、澤田淳（記録）

【コースタイム】 1日目 小沢橋登山口 10：00～四ツ又山頂上 12：15～マメガタ峠
13：15～登山口 14：15～ほたる山キャンプ場。

2日目 ほたる山キャンプ場 8：20 出発～相沢口 9：15～トモ岩 11：20～経塚山頂上 12：15～登山口 14：40 到着。

上州方面に出かけるとあまりに平な台形型が印象的な荒船山のあの平らな頂上はどうなっているのかな？と思いつけてきましたが、今回やっとその謎が解けました。

1日目 四ツ又山

小沢橋登山口から入り荒れた沢の右側を歩き始めるも、だんだんと踏みあとが怪しくなり、やぶ漕ぎに近い状態になってくる。一般道とはとても思えず、沢の左に移り、あがるとすぐ歩きやすい一般道が見つかりほっとする。天狗の像のある天狗峠を越えて、頂上を目指しているうち天気予報は当たらずに急に曇ってくる。頂上に着くと風も出てきて寒い。

目の前にこれから向かう予定の立派な鹿山の岩峰が見えるが、北面は、24日の雪が残り天気も下り坂予報なので、加藤リーダーが、危険と判断し鹿山は、あきらめて、マメガタ峠を通り登山口に戻ってくる。

今晚は、下仁田駅近くのほたる山キャンプ場で、キャンプを楽しむことも1つの目的であって、ベテランキャンパーの狩野さんが、便利な道具を持って来てくださっていた。私たちは、テントのようなタープで風から守られ、小さいストーブから暖をとり、時田さんの手により七輪から次々と美味しい焼き物が出てきて、鍋には下仁田ネギと上州牛のすき焼きとこんにゃくの味噌おでんという贅沢なキャンプを感謝し楽しんだ。

2日目 荒船山

相沢口登山口に車を置き杉林の中を進む。雪のついた道を慎重に2時間程登ると目の前に大きな岩壁が現れ、荒船山の台形の端っこが見えたことがわかる。笹ときれいな雑木林の稜線に出ると非難小屋が現れ、すぐ先にトモ岩の展望台がある。雪のついた浅間山が美しい！足元は、断崖なので、端っこには、行かないように気をつけながらしばし景色を楽し

む。頂上の 1356m の道標を探そうと稜線を南に進むが、地図に載っているあたりには見当たらない。おかしいなあといひながらこのままでは、1422, 5 メートルの経塚山へ行ってしまふけどどうしよう？ということになる。リーダーが、せっかくだから経塚山にも登りましようと言うので、心の中では、もうこの平らな雑木林が頂上でいいんだけどなあと思ひながら雪と落ち葉のけっこう滑る道をもうひと頑張りする。下りは、やはり滑るので、軽アイゼンをつけたい人は、つけて下る。やはり荒船山の道標は、見つからなかつた。不思議だねといひながら登ってきた道を下る。

下りてきて荒船の湯に行くと上州の山の本が、置いてあつたので、気になっていた私は、荒船山のページを開いてみた。荒船山の最高峰が、経塚山ですと書いてあり、びっくりした。みんなに知らせるとみんなもそれじゃあ、あきらめないで、登つてきてよかつたねということになつたが、よく考えてみると 7 人もいて、誰も知らないというのもびっくりな話である。

今回鹿岳は行けずに残念だつたけれど、初冬の雪山を楽しめたのはよかつたし、2 日目の天気予報悪く帰るだけと覚悟していたけど、1 日目とはほぼ同じような空模様となり、一時は、青空まで見る事ができたことは、ラッキーでした。来年も 11 月の定例を担当したいと意欲満々のリーダーはじめ参加者の皆様ありがとうございました。感謝！



取り付き付近



四ツ又山頂



ピーク毎にある像



今回のお楽しみキャンプを満喫





雪と紅葉のコラボ



荒船山山頂？